

# 広島市植物公園 見どころ案内

2024年4月6日  
通巻第616号

## コバノミツバツツジ (ツツジ科)

園内各所のコバノミツバツツジが見ごろを迎えています。広島市周辺の里山の春の風物詩です。

## ニオイバゼラニウム (フウロソウ科)

葉に触れると、レモンやリンゴのような香りがします。

### ゼラニウム展 (展示温室)

珍しい野生種や貴重なナショナルコレクション認定の変わり葉ゼラニウム品種群、豪華なペラルゴニウムなど、必見です。

## ヒスイカズラ (マメ科)

宝石の翡翠(ひすい)のような魅惑的な花色をお楽しみください。

## ムラサキハナナ (アブラナ科)

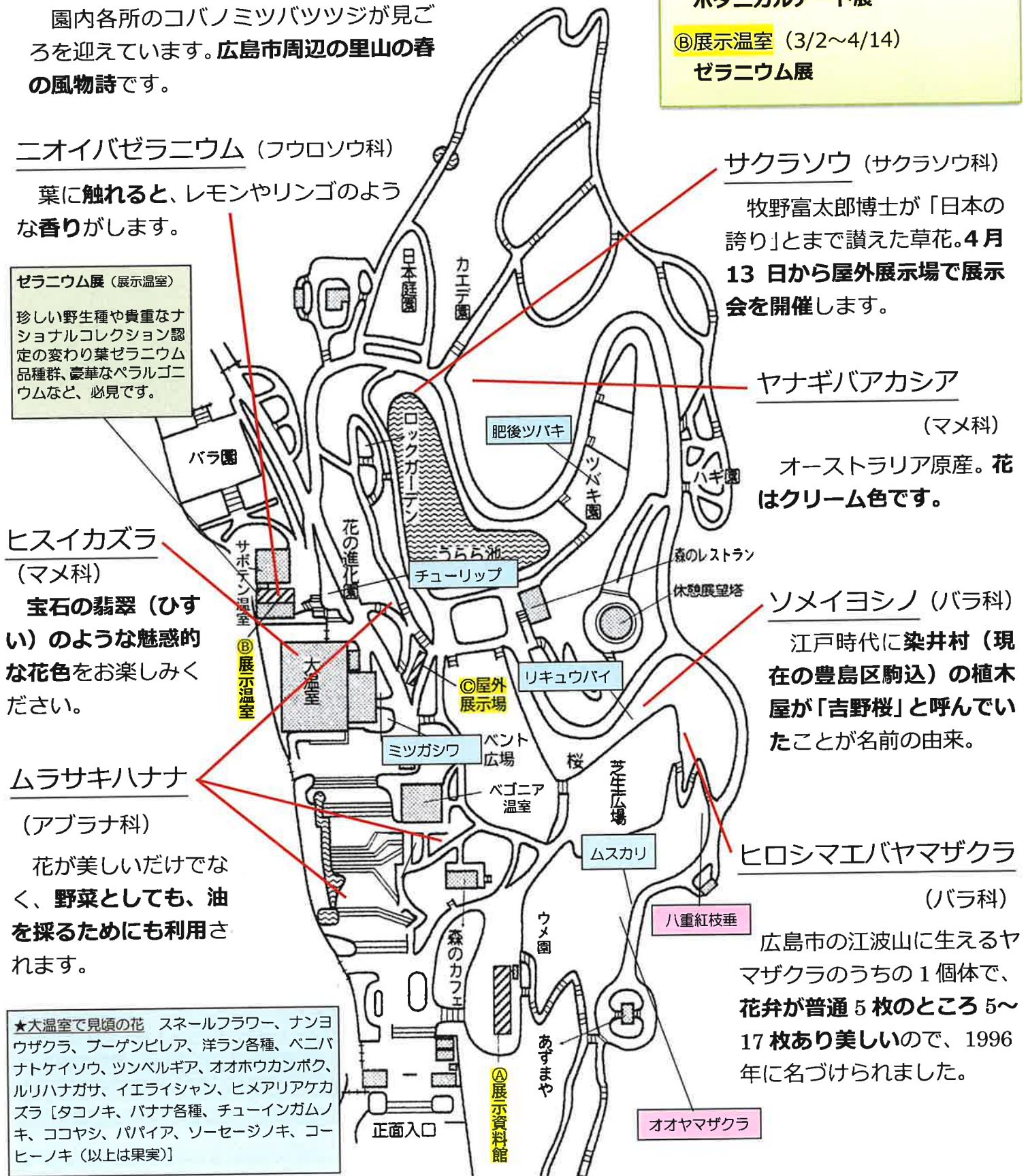
花が美しいだけでなく、野菜としても、油を採るためにも利用されます。

★大温室で見頃の花 スネールフラワー、ナンヨウザクラ、ブーゲンビリア、洋ラン各種、ベニバナトケイソウ、ツンベルギア、オオホウカンボク、ルリハナガサ、イエライシャン、ヒメアリアケカズラ [タコノキ、バナナ各種、チューインガムノキ、ココヤシ、パパイア、ソーセージノキ、コーヒノキ (以上は果実)]

今週の  
見どころ案内  
掲載植物  
現場にはこの表示  
がしてあります。

## 展示会のご案内

- ① 展示資料館 (4/6~5/6)  
ポタニカルアート展
- ② 展示温室 (3/2~4/14)  
ゼラニウム展



## サクラソウ (サクラソウ科)

牧野富太郎博士が「日本の誇り」とまで讃えた草花。4月13日から屋外展示場で展示会を開催します。

## ヤナギバアカシア (マメ科)

オーストラリア原産。花はクリーム色です。

## ソメイヨシノ (バラ科)

江戸時代に染井村(現在の豊島区駒込)の植木屋が「吉野桜」と呼んでいたことが名前の由来。

## ヒロシマエバヤマザクラ (バラ科)

広島市の江波山に生えるヤマザクラのうちの1個体で、花弁が普通5枚のところ5~17枚あり美しいので、1996年に名づけられました。

☆ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ☆  
☆ 4/14、4/23、5/6 午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ☆